

## 予算決算委員会民生教育分科会会議録

### 招 集

令和3年2月3日（水） 議場

### 出席委員（8名）

（分科会長）国 頭 靖 （副分科会長）伊 藤 ひろえ  
石 橋 佳 枝 岩 崎 康 朗 岡 田 啓 介 門 脇 一 男  
土 光 均 矢 田 貝 香 織

### 欠席委員（0名）

### 説明のため出席した者

伊澤副市長

【福祉保健部】景山部長

[福祉政策課] 大橋次長兼課長

[健康対策課] 中本課長 仲田課長補佐兼健康総務担当課長補佐兼新型コロナウイルス  
ワクチン接種推進室長

渡部担当課長補佐 小西担当課長補佐 金川担当課長補佐

【こども未来局】湯澤局長

[子育て支援課] 池口課長 井上子育て支援担当課長補佐

### 出席した事務局職員

松下局長 土井次長 先灘調整官 安東主任

### 傍 聴 者

安達議員 稲田議員 今城議員 遠藤議員 岡村議員 奥岩議員 尾沢議員  
田村議員 戸田議員 西川議員 前原議員 又野議員 三鴨議員 矢倉議員  
報道関係者 2人 一般 0人

### 審査事件

議案第3号 令和2年度米子市一般会計補正予算（補正第14回）のうち当分科会所管  
部分

~~~~~

### 午前11時27分 開会

○国頭分科会長 ただいまより予算決算委員会民生教育分科会を開会いたします。

先ほどの本会議で予算決算委員会に付託され、当分科会の審査担当とされました議案について審査をいたします。

議案第3号、令和2年度米子市一般会計補正予算、補正第14回を議題といたします。

当局の説明を求めます。

渡部健康対策課担当課長補佐。

○渡部健康対策課担当課長補佐 議案第3号、令和2年度米子市一般会計補正予算、補正第14回のうち、福祉保健部が所管する部分につきまして、歳出予算の概要等を御説明いたします。

まず、予算説明資料、歳出予算の事業の概要をお出しいただき、1ページをお開きください。

1 ページの上の段の子育て世帯への特別支援給付金事業についてですが、4,742万5,000円を計上しております。これは新型コロナウイルス感染症に関する米子市独自の追加支援として、経済的な困難を抱えると考えられる住民税非課税の子育て世帯等に特別支援給付金を支給し、緊急的に支援するものでございます。対象者は18歳未満の児童を有する令和2年度の住民税非課税世帯及び令和2年度中の収入が住民税非課税世帯相当まで減少が見込まれる世帯でございます。給付額は1世帯当たり3万円に、令和2年度に中学校を卒業する児童を有する世帯には1人につき6万円を加算した額になります。

続きましてその下、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業についてですが、7億4,157万2,000円を計上しております。これは新型コロナウイルス感染症による生命、健康を損なうリスクの軽減等を図るため、市民に対し予防接種を実施するものでございます。

続きまして、令和2年度米子市補正予算書をお出しいただき、31ページを御覧ください。繰越明許費に関する調書、補正第1回でございます。一番上の保健衛生費の新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費について、7億2,493万2,000円を計上しております。これはワクチンの供給に関して不確定な要素があり、年度内の事業完了が見込めないため、繰越をお願いするものでございます。説明は以上でございます。

**○国頭分科会長** 当局の説明は終わりました。委員の皆様からの御意見を求めます。  
門協委員。

**○門協委員** それでは新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業についてお伺いしたいと思いますが、非常に大事な事業とっておりますので、予算からちょっと外れるところ、聞きたいところがございますので、お願いしたいと思います。

各国で開発されているワクチン、それぞれ特徴があるように伺っておりますが、まず本市でされるワクチン接種の種類をまず伺いしたいと思います。

**○国頭分科会長** 中本健康対策課長。

**○中本健康対策課長** 今の質問に対しまして御答弁させていただきます。現時点におきましては、確定というところではないですけれども、薬事承認が下りている薬品というものが一つもないんですけれども、まずもって国からの情報提供によりますと、ファイザーがでございます。その後にモデルナ、アストラゼネカというところを検討されていますけれども、ファイザー社について、まずもって薬事承認が下りて接種をするという意向でございます。

**○国頭分科会長** 門協委員。

**○門協委員** そのファイザー社のワクチンというのは様々な特徴があるように、冷凍保存の方法とか、いろいろ言われておりますけれども、そのほかにどのような特徴があって、それに対して本市でどのような対処・対策をされる予定なのかをお伺いします。

**○国頭分科会長** 中本健康対策課長。

**○中本健康対策課長** 今の御質問につきましてですけれども、ファイザー社につきましては、特徴としましては、マイナス75度の冷凍ということがありますので、まず冷凍庫、ディープフリーザー、こちらを順次、これは市町村に割り当てられますけれども、米子市としては最終的には9台、ディープフリーザーが配置されますけれども、まず2月に、健康対策課のほうに1台設置するというような形で、その小分けの仕方等がございますが、そこら辺につきましては、まだ情報が入ってはおきませんので、まずもってその冷凍庫を配置するというような特徴でございます。

○国頭分科会長 門脇委員。

○門脇委員 次に、ワクチンの接種については、初めてでなかなか未知なところが多いと思うんですけども、報道によりますと1月27日に神奈川県川崎市で全国で初めての集団接種訓練が行われておりますけども、そこで、本市ではこれに対して訓練といいますか、シミュレーションをどのようにお考えなのかをお伺いしたいと思います。

○国頭分科会長 中本健康対策課長。

○中本健康対策課長 本市としましては、そちらの検証につきましては情報を速やかに入手しまして、集団接種、個別接種、両方の側面から参考になるものを検討したいというふうに思っております。

○国頭分科会長 門脇委員。

○門脇委員 非常にまだ分かっていない部分が多いと思いますけども、分かる部分のところでお答えしていただければと思いますけども、本日までのところで、国や県とはどのような協議をされてきたのか伺いたいと思います。

○国頭分科会長 中本健康対策課長。

○中本健康対策課長 まず、国につきましては、説明会が今までに2回ございました。県につきましては、それを踏まえて、連絡会議をされているような状況でございます。本市としましては、接種を速やかに確定しまして、最終的には、御医者さんに接種をしていただくということになりますので、そちらの確保に努めたいというふうに思っています。

○国頭分科会長 門脇委員。

○門脇委員 ありがとうございます。今の段階で私が考えたところですけども、先ほどから言うようになかなか未知のところが多いと思いますけど、現在のところ、課題が山積しているのかなと思いますので、これからどのような対応をしていくのかということをお私の中で思うところを質問したいと思いますので、その中で今の段階で答えられるものがあつたらお願いしたいと思います。

まず、ワクチン接種に対して、ワクチンに対する市民からの相談の対応はどうするのか。あと、ワクチンの接種の案内の方法、あるいは、ワクチン接種の申込み方法はどのようにするのか。さらには、医師の確保並びにワクチン接種会場はどこにするのか。医院とか病院とかでの個別接種にするのか、あるいは、広い会場での集団接種にするのか。副反応が出た場合にどのような対処をするのか。また、今日の新聞でちょっと見たんですけど、接種について近隣の市町村と協議をしているようなところもあるんですけど、本市の場合は、この場合本市のみで接種をするのか。これらのことについて、現時点での取組状況・検討状況が分かりましたらお答えいただきたいと思います。

○国頭分科会長 中本健康対策課長。

○中本健康対策課長 今の御質問につきまして、順番にお答えさせていただきたいと思っております。まず、市民相談対応につきましては、今回の予算でも計上させてもらっていますが、コールセンターを委託として出したいというふうに思っております。それプラス、推進室の電話相談窓口につきましても、お答えさせていただきたいと、あとは県と連携しまして、専門的な相談に関しましては、県のコールセンターのほうで協力いただくような調整をしているところでございます。

続きまして、案内の方法でございますが、案内の方法はクーポン券を発送する際に、で

きるだけ分かりやすいものを国の情報を踏まえまして、同封できるものを同封したいというふうに思っております。あと、アナウンスとしまして、推進室のほうの職員をそういう位置づけで広報担当をつけておりますので、丁寧な案内を推進したいというふうに思っております。

申込み方法につきましてですが、これは集団接種、個別接種によって申込み方法は変わってきますので、現時点において、本市におきましては、両方の併用型を考えておりますので、集団接種につきましては、直接コールセンターのほうにお申込みいただくという方法を考えております。個別接種につきましては、それぞれの個人医院、病院のほうに申し込んでいただくという、これは国のやり方どおりの手順でいきたいというふうに思っております。

続きまして、医師の確保につきましてですが、医師の確保につきましては、当然、先ほどの私の答弁もそうですけども、お医者さんの協力が無いといけませんので、西部医師会、米子市のお医者さんの責任者の方を今通じまして、事務局も含めまして、各お医者さんにまず照会をかけさせてもらって、手挙げをしていただいた上で、我々の調整の人数も含めまして、あとは個別にお願いにまいりたいというふうに思っております。あと、大学病院との絡みもありますので、専門的な副反応の対応につきましての御質問にもかぶるんですけども、そちらについて、専門的な大学病院の協力依頼をさせていただきたいというふうに思っております。

会場につきましてでございますが、集団接種に関しましては、例えばですが、まだ確定はしておりませんが、想定としましては、大きい体育館、市民体育館、のようなそういう体育館とか、ふれあいの里を現時点においては、想定しております。

最後に近隣市町村についての質問でございますが、近隣市町村との関係は、広域連携で折衝するという今のところ我々考えておりませんので、米子市独自として米子市独自で先ほども言ったようにお医者さんを確保してというところで動いていくところでございます。以上でございます。

**○国頭分科会長** 門協委員。

**○門協委員** 長くなりまして申し訳ありません。最後の質問にしたいと思っておりますけど、このたびの補正では、繰越明許費が計上されておりますけども、とりあえず本年度中、令和3年3月までですけども、どこまでの事業展開を図られるか、想定されているのかをお伺いしたいと思います。

**○国頭分科会長** 中本健康対策課長。

**○中本健康対策課長** 先ほども御答弁さしてもらいましたけども、まずコールセンターを3月の早い段階で調整できたらと思っておりますので、そのような経費を見込みたいと思っております。繰越明許に関しまして、現年分の部分は、予備費負担分というところでございますので、これ繰越明許ができない経費でございますので、そこら辺について現年分で速やかに必要なものを歳出したいというふうに考えております。

**○国頭分科会長** 門協委員。

**○門協委員** 最後と言いましたけど、もう一つ、その接種、例えば、国からの報告といたしますか、報道を見ますと、2月の下旬とかとなっておりますけど、本市の場合、これ今3月末まででというのはそういうことも含めてちょっとお伺いしたかったんですけど、どのよ

うな計画でなされるのかをお伺いします。

**○国頭分科会長** 中本健康対策課長。

**○中本健康対策課長** 今報道で出ています2月という御指摘がありましたけども、こちらは県のほうが主導になりまして、医療従事者の先行接種、優先接種が2月中旬から3月下旬にかけての接種でございます。本市が直接経費を使いまして接種をする高齢者向けからスタートしますけども、こちらを4月以降という形のスケジュールを考えています。

**○国頭分科会長** 矢田貝委員。

**○矢田貝委員** 先ほどの門脇委員にかぶらないように質問させていただきたいと思うんですけども、保冷庫、フリーザーのことなんですけど、市として9台予定されているというところなんですけども、簡単に考えると、単純に集団会場が9か所同時に開設できるというイメージになるんでしょうか。大きさとかフリーザーから接種会場に移動する。その会場での保管方法というのがイメージがつきにくいので、分かれば教えていただきたいと思うんですけども。

**○国頭分科会長** 中本健康対策課長。

**○中本健康対策課長** 会場が9か所ということでは現時点においては考えていません。会場は先ほど若干説明させてもらったんですけども、個別接種、集団接種の割合が確定してから集団接種箇所が3か所になるのか、2か所になるのかによって、そこにはフリーザーを配置したいと思っておりますけども、それプラス、健康対策課のほうとか、基幹となる病院に置いていただけるような病院があればというところで、現時点において、集団接種が9か所に9台ということではございません。

**○国頭分科会長** 矢田貝委員。

**○矢田貝委員** 分かりました。ありがとうございます。業務委託のところで、コールセンター等というところがありまして、先ほどの御答弁をいただく中では、コールセンターで対応いただく内容については、いろんな市民からの問合せであったりとか、また集団接種に対する申込みもコールセンターとおっしゃったと思うんですけども、どういったことをコールセンターに委託されようとしておられるのかということと、その委託先というのはめどが立っているのかということをお伺いしたいと思います。

**○国頭分科会長** 中本健康対策課長。

**○中本健康対策課長** 内容といたしまして、基礎的な、いわゆる一般的な全国的な標準的なものの質問に対してのお答えをしていただくレベルのコールセンターを考えています。県のほうもコールセンターをといるところの話をしたように、最終的に体調が悪いとか、いわゆる保健師、専門職的な意味合いの部分につきましては、そのまま県につないでいただきたいというふうに思っております。一般的な制度だとか、いつからだとか、そういうようなものを請け負うようなものを委託会社で考えております。目星としまして、当社の会社は今のところあります。以上でございます。

**○国頭分科会長** 矢田貝委員。

**○矢田貝委員** それから、米子市として取り組むのが高齢者の接種に向かっていくところからということになるんですけども、報道等によりますと、高齢者が接種する際に、付き添う介護職員については、順番的には医療者、高齢者、それ以降になるんですけど、高齢者の接種時にできるというふうにも聞こえてきているんですけど、そのあたりの具体的に、

どの程度の介護者なのか。高齢者の接種に付き添いをする家族まで含んで考えていいのかというのがもし分かればお教えください。

○国頭分科会長 中本健康対策課長。

○中本健康対策課長 今回の御質問につきましては、詳細につきまして、刻々と変わってきておりますので、現時点において明確な答弁はできないという状況になっております。

○国頭分科会長 矢田貝委員。

○矢田貝委員 これ意見ですけれども、今、国や県のほうから下りてくる指針に対応していかれることになると思うんですけれども、高齢者に接する人がワクチン未接種であれば意味がないことというふうな意見が現場のほうの方々の意見としても聞いておりますので、ぜひその辺は、県・国等との情報交換の中で積極的にそういった声があるということ連携を取って対応いただきたいなというふうに思います。あと、米子市の初期のワクチン接種の対応につきましては、鳥取県に先駆けて体制を整えられているということで、とにかくコロナ対策を積極的にされているという点について、まず評価をさせていただいているところなんですけれども、この予算を見まして、接種に関係してくる国の予算なわけですね。では周知について、この予算の中にどの程度入っているのかというのが少しこの内容のところで見にくいと思うんですけれども、広報の仕方、市民に対する周知の仕方、それから市報のどのタイミングで載せられる予定で、新聞であるとか、ホームページであるとか、どのようなお考えを持っておられるのか伺いたいと思います。

○国頭分科会長 中本健康対策課長。

○中本健康対策課長 広報につきましては、広報の専門の職員を配置してというところを考慮しておりますので、今おっしゃられたように、あらゆる手段を使って新聞等々、ホームページのみならず、様々なものを使いたいというふうに思っております。

○国頭分科会長 矢田貝委員。

○矢田貝委員 最後の質問です。最終的に接種方法の確定というのはどのタイミングでしなければならないというか、結局、国がどこでということを示してくる中でしていかれると思うんですけれど、大卒の今のイメージというものがおありでしょうか。このあたりで接種開始の何か月前、逆算でしか言えないかもしれませんが、分かっておられればお願いいたします。

○国頭分科会長 中本健康対策課長。

○中本健康対策課長 接種方法の確定につきましては、先ほど来から御説明させていただいたように、大卒として集団接種、個別接種の併用型というのは、現時点においても確定しております。あとはこれに対して割合について、検討したいというふうに考えております。

○国頭分科会長 矢田貝委員。

○矢田貝委員 スタート開始した時から逆算の準備というのは、されていないということなんでしょうか。集団接種会場も時間とか曜日によっては、今、職場での接種という報道もされていますけれども、そういったことを考えるとある程度スタートするまでのタイムスケジュールというのをお持ちじゃないかなというふうに思うんですけれど。

○国頭分科会長 中本健康対策課長。

○中本健康対策課長 時期としましては、今月中には詳細なプランを確定したいというふ

うに思っております。

○**国頭分科会長** 矢田貝委員。

○**矢田貝委員** 分かりました。答えにくいところいろいろと聞いているんだらうなというふうに思いますけれども、市の取組、先進的に、積極的にまた丁寧に進めようとしていてというふうに理解をしておりますので、しっかりとよろしくお願いを申し上げます。以上です。

○**国頭分科会長** ほかに。石橋委員。

○**石橋委員** 何点かお伺いします。まず、コロナワクチンのほうの接種について伺います。米子市としては、集団接種と個別の接種と併用で考えているというふうに今伺っておりますけれども、これについては、希望を取ってということでしょうか。個人病院で例えば、かかりつけ医で受けたいというような希望がどれだけあるのかとか、あるいは集団でというのがどれくらいあるのかというのを、例えば、クーポン券などによる申込みのときに、希望を聞くとかそういうことも含めてその割合を決められるということですか。

○**国頭分科会長** 中本健康対策課長。

○**中本健康対策課長** 今の御質問につきましては、クーポン券のほうで各住民の方に希望を取るということは想定しておりません。

○**国頭分科会長** 石橋委員。

○**石橋委員** そうしますと、集団接種の場所とか時間とかをある程度決められて、市のほうで想定して接種されるということなんですね。

○**国頭分科会長** 中本健康対策課長。

○**中本健康対策課長** そのとおりでございます。

○**国頭分科会長** 石橋委員。

○**石橋委員** 個人病院での接種の場合、ほんとにその人の普段の様子、持病のことなどをよく知っておられるお医者さんにかかるというのは、ある意味とても安心なんですけれども、例えば、さっき言われたようにマイナス75度で保管の必要なワクチンを9台の冷凍庫からその個人医院へ運んでいかなきゃいけないんだと思うんですが、そのあたりの保管の状況はいい具合に受け渡しができるのかどうかという辺はどういうふうに考えていらっしゃいますか。

○**国頭分科会長** 中本健康対策課長。

○**中本健康対策課長** 当初から小分けについてもかなり柔軟に変わってきておりますので、そこが当然、肝になってきますので、県を通じまして、国についても、その個別接種がスムーズにいくような要望をしたいというふうに思っております。

○**国頭分科会長** 石橋委員。

○**石橋委員** もう一つお伺いしますが、最初にクーポンを送られるのは、高齢者ということですが、持病のある人、リスクの高いような病気のある人というのは、高齢者にまだなっていない人もあると思うんですが、そういう人たちは後になるということでしょうか。

○**国頭分科会長** 中本健康対策課長。

○**中本健康対策課長** 御指摘のとおりその次になります。

○**国頭分科会長** 石橋委員。

○**石橋委員** そうしますと、クーポンというのは、そういうふうに次々に高齢者だけでは

なく、発送されるということですか。

○国頭分科会長 中本健康対策課長。

○中本健康対策課長 そのとおりでございます。

○国頭分科会長 石橋委員。

○石橋委員 分かりました。2回接種しなければならないというふうなことも聞いておりますが、その2回目はいつ頃するかということまではまだ想定されていないのでしょうか。2回目の接種はいつ頃するか。

○国頭分科会長 中本健康対策課長。

○中本健康対策課長 最初のワクチンがファイザー社を想定しておりますので、こちらが21日間空けるということになっていきますので、その期間後ということになります。

○国頭分科会長 石橋委員。

○石橋委員 ワクチンのその確保というのは、十分にできるというふうに考えていらっしゃる。ワクチンの確保によって、接種の流れというか、どこでできるかというのが決まってくるんだと思うんですけど、その辺はどうなんでしょうか。

○国頭分科会長 中本健康対策課長。

○中本健康対策課長 確保時期というのが、最大の我々の懸念に現時点でなっておりますので、国からどのタイミングでどれだけの量が確保されるかというのが決定していないという状況でございます。

○国頭分科会長 石橋委員。

○石橋委員 この件に関しては終わりますけれど、子ども子育て世帯への支援のほうのことを伺います。これは、令和2年度の収入が非課税に相当するような収入の落ち込みがある子育て世帯、18歳未満の子どものいる世帯が対象になるということですが、それは広報をして、申出というか申込みを受けるということですか。

○国頭分科会長 井上子育て支援課子育て支援担当課長補佐。

○井上子育て支援課子育て支援担当課長補佐 こちらのほうで広報させていただきまして、申請をしていただいた方につきましては、対象というふうにさせていただく予定にしております。

○国頭分科会長 石橋委員。

○石橋委員 こういう申込みのものについては、徹底して広報をしていただきたいと思いますので、18歳未満の子どものいる家庭ですから、例えば、学校を通してでも広報できるのかなということも思いますので、あらゆる方法で徹底していただきたいというふうに思います。

○国頭分科会長 よろしいですか。

○石橋委員 結構です。

○国頭分科会長 ほかにありませんか。

土光委員。

○土光委員 ワクチン接種体制確保事業に関してお伺いします。まず、国の動向というかその辺の関連になりますが、今、米子市としては、4月以降高齢者、多分そのころから高齢者に対するワクチンの確保ができるからという見通しでそうなっていると思うのですが、4月以降高齢者というのは、全国的に、つまり地域によって差があるのかなのか、感染



状況がシビアなところを優先とか、人口が多いところを優先とか、そういった国の考え方に関して何か情報を持っていたらお伺いしたいと思います。

○国頭分科会長 中本健康対策課長。

○中本健康対策課長 現時点においては、そういう情報は入ってございません。

○国頭分科会長 土光委員。

○土光委員 それからマスコミ等で2回接種が必要ということもあってワクチンの接種を誰がしているかしていないか、要はその管理体制に関して、マイナンバーを利用するというふうなことがいろいろ言われているのですが、実際、今の時点でどういうふうに、要は利用するのかしないのか、利用するとしたらどういう形で利用されるのか、というところに関して説明をお願いします。

○国頭分科会長 中本健康対策課長。

○中本健康対策課長 今の御質問につきましても、現時点においては、詳細について把握しておりません。情報も入っておりません。

○国頭分科会長 土光委員。

○土光委員 予算書の中で、予防接種費用が5億7,000万の中に、予防接種費用だから事務費以外すべての費用だと思います。この中でワクチン本体に関する費用は幾らなんですか。この中でワクチンは何人分のワクチンということにこの金額の中に含まれているんですか。

○国頭分科会長 中本健康対策課長。

○中本健康対策課長 ワクチン自体の費用に関しましては、この中に入ってございません。人数に関しましては、米子市の16歳以上の人間を想定しておりますので、12万7,100人でございます。

○国頭分科会長 土光委員。

○土光委員 予防接種費用の中、米子市に国から来るのですが、米子市がこういった予算計上、この中にはワクチン本体の予算計上をする必要がない。つまり国からワクチンは無償で来るということなんですか。

○国頭分科会長 中本健康対策課長。

○中本健康対策課長 そのとおりでございます。

○国頭分科会長 土光委員。

○土光委員 事務費内訳で、会計年度任用職員人件費4名、これは新たにこの事業のために新規採用をするということでしょうか。

○国頭分科会長 中本健康対策課長。

○中本健康対策課長 そのとおりでございます。

○国頭分科会長 土光委員。

○土光委員 人数は4名です。この予算の期間はどのくらいの期間の予算ですか。

○国頭分科会長 中本健康対策課長。

○中本健康対策課長 詳細な中身にもよりますけれども、確定次第ですけど、今の中では人によってバラバラを想定していますけど、最大11か月を見ておるものもおります。

○国頭分科会長 土光委員。

○土光委員 コールセンターに関して、これは米子市民を対象にするコールセンターとい

うふうに考えていいですか。

○国頭分科会長 中本健康対策課長。

○中本健康対策課長 そのとおりでございます。

○国頭分科会長 土光委員。

○土光委員 役割等とか質問のことは先ほどの答弁で分かりました。これは何人規模ぐらいのコールセンターを想定しているんですか。要は電話を受ける電話の台数と言っていいかもしれないけど、どのぐらいの規模なんですか。

○国頭分科会長 中本健康対策課長。

○中本健康対策課長 コールセンターは10人体制でというふうに考えております。

○国頭分科会長 ほかにありませんか。

〔「なし」という声あり〕

○国頭分科会長 ないようですので、予算決算委員会民生教育分科会を暫時休憩いたします。

**午後0時1分 休憩**

**午後0時2分 再開**

○国頭分科会長 予算決算委員会民生教育分科会を再開いたします。

分科会長報告のための意見の取りまとめを行いたいと思いますが、御意見がございましたら発言をお願いいたします。

〔「なし」と声あり〕

○国頭分科会長 それでは、特になかった旨、報告させていただきたいと思います。

以上で、予算決算委員会民生教育分科会を閉会いたします。

**午後0時2分 閉会**

米子市議会委員会条例第29条第1項の規定により署名する。

予算決算委員会民生教育分科会長 国 頭 靖